

# フィリピン 海外ボランティア

ワークキャンプ

～2010年夏版～



こどもの笑顔が  
世界へのトビラ!

新しい弟や妹、仲間たちに出会いに行こう！

# 孤児院ワークキャンプ

7月8日～19日20日



したい  
その1

## 国際協力がしたい！



### ボランティアワーク

こどもの暮らしを向上させる  
為に、施設建設や改修、農業  
などのボランティアワークを  
1日6時間実施します。

### 孤児院(児童養護施設)ジャイラホームとは

マニラから北へ車で4時間。孤児・虐待・育児放棄・貧困  
などにより、親と一緒に暮らすことの出来ない子ども達30人  
が暮らしている施設です。ACTIONでは1994年よりパート  
ナーとして、施設建設や施設の運営を実施しています。



したい  
その2

## 子ども達と遊びたい！



ジャイラホーム付属小学校の子ども  
150人とも友達になれるよ！



### 夕方からは子ども達遊ぶ時間

キャンプ期間中はジャイラホームに滞在する  
ため、毎日子どもと遊べます。自分たちのために  
日本からやって来てくれるお兄さん、お姉さんは  
思いっきり甘えられる特別な存在です。  
子ども達を喜ばせるための企画也大歓迎！

## ホームステイしたい！

したい  
その3

### 2泊3日のホームステイプログラム

ホスピタリティ溢れるフィリピンの家庭が、あなたを家族  
の一員として暖かく迎えてくれます。フィリピンの文化や  
習慣を学ぶチャンスです。  
ジャイラホームの子ども達が本来いるべき場所。施設の  
子ども達と一般家庭の子ども達はどこが違うのでしょうか。





フィリピンの主食はお米。日本人参加者からも美味しいと好評です。毎日2人ずつがキッチンヘルパーとして食事作りをお手伝い。



こどもたちは皆さんとおもいっきり遊べるこの時間をキャンプが始まる前から楽しみにしています！



7:00 朝7時に朝食  
さあ、1日の始まりです！

11:30

14:00

17:00

朝食・準備

ボランティアワーク

昼食・休憩

ボランティアワーク

遊び

夕食・休憩

ミーティング

8:00

午前と午後3時間ずつはボランティアワークの時間。地元の大工さんと一緒に作業するので、初めてでも大丈夫。女性も大活躍！



キャンプ期間中滞在するのはACTIONが作ったジャイラホームのゲストハウス。(6~8人部屋)



18:00

20:00

夜のミーティングでは仲間と体験の共有・イベントの準備等を行います。星を見ながらの語り合いは最高！

-VOICE-  
参加者の声

人生を変える出会い  
がここにはありました

たくさんの笑顔に出会いたい、そしてその笑顔をもっと増やしたい。そんな気持ちで参加した初めてのワークキャンプ。様々な理由で家族と生活できない子どもたちだけれど、彼らの表情はキラキラと輝いていて、3週間という短い間に心いっぱい元気、優しさ、幸せ、そして笑顔をもらいました。「また子どもたちに会いたい」その一心だけで、再びジャイラへ帰りました。また、日本ではすれ違うことすらなかったであろうキャンパーとの出会いも一生もので、帰国した今でも私たちの関係は続いています。

したい  
その4

自分の視野を広げたい！



スタディツアー(日帰り)

キャンプ期間中、日帰りでスタディツアーを実施。盲ろう学校や性的虐待を受けた女の子の施設、巨大なショッピングモール、戦争関連の史跡を訪問します。ジャイラホーム以外の様々な環境に置かれたこども達との出会い、そしてキャンプだけでは分からないフィリピンがあります。

したい  
その5

日本でも活動を続けたい！



過去参加者から毎月届く誕生日カードをこども達はとっても楽しみに待っています。



過去参加者有志によるフリーマーケット出店。集まったお金でこども達に贈り物！



帰国後もこども達と皆さんをつなげます

アクションではキャンプ終了後もこども達と参加者が繋がっていくように、誕生日カードのプレゼントや、こども達をサポートするためのフリーマーケット開催、キャンプ開催期間以外の孤児院訪問のコーディネート積極的に実施しています。またキャンプでの経験を多くの人に共有するため、小・中・高校生達にそれぞれの体験を話してもらう機会も設けています。

日本事務局でのボランティアや自主企画等、ぜひチャレンジしてみてください！

東京の武蔵野市にあるアクションの事務局兼、アジアン雑貨チャリティショップ。帰国後も多くの参加者がボランティアをするなど、国内の活動拠点となっています。商店街活性化や国際理解講座も実施！

# 日程A：8月2日～8月9日（7泊8日）

	スケジュール	食 事	宿泊場所
8/2(月)	空港見送り(成田空港のみ) マニラ空港にスタッフが出迎え(東京・大阪組) 車でジャイラホームへ移動(所要4時間)	朝食：－ 昼食：機内食(関西) 夕食：機内食(東京)	ジャイラホーム
8/3(火)	午前：ジャイラホームオリエンテーション 午後：学校建設や農作業のワーク 夜間：子ども達と夕飯&交流	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/4(水)	午後：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク 夜間：アクション代表によるワークショップ	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/5(木)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：ホストファミリーと顔合わせ *その後ホストファミリーと自由行動	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ホームステイ	ホームステイ
8/6(金)	午前：ホストファミリーと自由行動 午後：ホストファミリーと自由行動 夜間：ホームステイの体験共有ワークショップ	朝食：ホームステイ 昼食：ホームステイ 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/7(土)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：子ども達とプール	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/8(日)	午前：自由行動 午後：自由行動 夜間：さよならパーティー	朝食：ジャイラホーム 昼食：各自 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/9(月)	東京組：朝1時にマニラ空港へ出発 関西組：朝7時にマニラ空港へ出発 日本到着後解散	朝食：各自空港で 昼食：機内食(東京) 夕食：機内食(関西)	

【日 程】8月2日～8月9日(7泊8日)

【開催地】サンパレス州カスティリヤホス行政区マグサイサイ地区(マニラから北西に約120キロ)

【参加費】158,000円(詳しくは下記を参照)

【出発地】東京(成田空港) 関西(関西空港)

【定 員】20名

【締切り】7月16日 \*定員になり次第締め切ります

【参加資格】子どもや国際協力に関心があり、団体行動の出来る方(年齢・語学力は不問)

【重要①】孤児院ジャイラホーム内は禁酒・禁煙です。(厳守して頂きます)

【重要②】7月17日(土)に東京・原宿で出発前研修を実施します。出来るだけ参加して下さい。

【重要③】現地集合・現地解散、参加費の分割払いも可能です。事務局までお問い合わせ下さい。

## 参加費に含まれるもの：

航空券・燃油追加代金・成田空港使用料・マニラからジャイラホームまでの交通費、食費、宿泊費  
ホームステイにかかる費用・現地団体に対する寄付・コーディネート料

## 参加費に含まれないもの：

自由行動時の交通費や食費・海外旅行傷害保険・マニラ空港使用料(2千円程度)  
個人用途の費用(お土産代等)・ACTION年会費(5千円)

\*スケジュールは2010年4月現在のものです。現地の状況により変更になる可能性があります。

\*航空券の予約状況により利用航空が変更になる場合、参加費が上がる場合があります。

# 日程B：8月16日～8月30日（14泊15日）

	スケジュール	食 事	宿 泊
8/16(月)	空港見送り(成田空港のみ) マニラ空港にスタッフが出迎え(東京・大阪組) 車でジャイラホームへ移動(所要4時間)	朝食：一 昼食：機内食(関西) 夕食：機内食(東京)	ジャイラホーム
8/17(火)	午前：ジャイラホームオリエンテーション 午後：近隣のマーケット見学 夜間：子ども達と夕飯&交流	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/18(水) ～20(金)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク 夜間：19・20日はアクション代表によるワークショップ	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/21(土)	午前：子ども達と交流 午後：子ども達とプール	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/22(日)	性的虐待を受けた女の子の施設や戦跡、ショッピングモール、 盲ろう学校等を訪問するスタディツアー	朝食：ジャイラホーム 昼食：モールで各自 夕食：盲ろう学校	ジャイラホーム
8/23(月)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/24(火) ～26(木)	アクションがこれまでにプロジェクトを実施してきた地域 で2泊3日のホームステイ(二人一組・男女別)	朝食：ホームステイ 昼食：ホームステイ 夕食：ホームステイ	ホームステイ
8/27(金)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/28(土)	午前：子ども達とのイベント 午後：昼食後自由行動	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：各自	ジャイラホーム
8/29(日)	午前：帰国準備・ゲストハウスの清掃 午後：さよならパーティーの準備 夜間：さよならパーティー	朝食：各自 昼食：各自 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
8/30(月)	東京組：朝1時にマニラ空港へ出発 関西組：朝7時にマニラ空港へ出発 日本到着後解散	朝食：各自空港で 昼食：機内食(東京) 夕食：機内食(関西)	

【日 程】8月16日～8月30日(14泊15日)

【開催地】サンパレス州カスティリヤホス行政区マグサイサイ地区(マニラから北西に約120キロ)

【参加費】178,000円(詳しくは下記を参照)

【出発地】東京(成田空港) 関西(関西空港)

【定 員】20名

【締切り】7月16日 \*定員になり次第締め切ります

【参加資格】子どもや国際協力に関心があり、団体行動の出来る方(年齢・語学力は不問)

【重要①】孤児院ジャイラホーム内は禁酒・禁煙です。(厳守して頂きます)

【重要②】7月17日(土)に東京・原宿で出発前研修を実施します。出来るだけ参加して下さい。

【重要③】現地集合・現地解散、参加費の分割払いも可能です。事務局までお問い合わせ下さい。

#### 参加費に含まれるもの：

航空券・燃油追加代金・成田空港使用料・マニラからジャイラホームまでの交通費、食費、宿泊費ホームステイにかかる費用  
現地団体に対する寄付・コーディネーター料・スタディツアー交通費

#### 参加費に含まれないもの：

自由行動時の交通費や食費・海外旅行傷害保険・マニラ空港使用料(2千円程度)  
個人用途の費用(お土産代等)・ACTION年会費(5千円)

\*スケジュールは2010年4月現在のものです。現地の状況により変更になる可能性があります。  
\*航空券の予約状況により利用航空が変更になる場合、参加費が上がる場合があります。

# 日程C：9月2日～9月21日（19泊20日）

	スケジュール	食 事	宿 泊
9/2(木)	空港見送り(成田空港のみ) マニラ空港にスタッフが出迎え(東京・大阪組) 車でジャイラホームへ移動(所要4時間)	朝食：－ 昼食：機内食(関西) 夕食：機内食(東京)	ジャイラホーム
9/3(金)	午前：ジャイラホームオリエンテーション 午後：近隣のマーケット見学 夜間：子ども達と夕飯&交流	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/4(土)	午前：子ども達とのイベント 午後：オロンガボ市観光	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：オロンガボで各自	オロンガボ市内のホテル
9/5(日)	自由行動	朝食：各自 昼食：各自 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/6(月) ～9/8(水)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/9(木)	性的虐待を受けた女の子の施設や戦跡、ショッピングモール、 盲ろう学校等を訪問するスタディツアー	朝食：ジャイラホーム 昼食：モールで各自 夕食：盲ろう学校	ジャイラホーム
9/10(金)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/11(土)	子ども達とのイベント(スポーツ大会等)	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/12(日) ～9/14(火)	アクションがこれまでにプロジェクトを実施してきた地域 で2泊3日のホームステイ(二人一組・男女別)	朝食：ホームステイ 昼食：ホームステイ 夕食：ホームステイ	ホームステイ
9/15(水) ～9/17(金)	午前：学校建設や農作業のワーク 午後：学校建設や農作業のワーク	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/18(土)	午前：子ども達と交流 午後：子ども達とプール	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/19(日)	ジャイラホーム近隣で自由行動	朝食：みんなで自炊 昼食：みんなで自炊 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/20(月)	午前：帰国準備・ゲストハウスの清掃 午後：さよならパーティー準備 夜間：さよならパーティー	朝食：ジャイラホーム 昼食：ジャイラホーム 夕食：ジャイラホーム	ジャイラホーム
9/21(火)	東京組：朝1時にマニラ空港へ出発 関西組：朝7時にマニラ空港へ出発 日本到着後解散	朝食：各自空港で 昼食：機内食(東京) 夕食：機内食(関西)	

【日 程】9月2日～9月21日(19泊20日)

【開催地】サンパレス州カスティリヤホス行政区マグサイサイ地区(マニラから北西に約120キロ)

【参加費】198,000円(詳しくは下記を参照)

【出発地】東京(成田空港) 関西(関西空港)

【定 員】20名

【締切り】7月16日 \* 定員になり次第締め切ります

【参加資格】子どもや国際協力に関心があり、団体行動の出来る方(年齢・語学力は不問)

【重要①】 孤児院ジャイラホーム内は禁酒・禁煙です。(厳守して頂きます)

【重要②】 7月17日(土)に東京・原宿で出発前研修を実施します。出来るだけ参加して下さい。

【重要③】 現地集合・現地解散、参加費の分割払いも可能です。事務局までお問い合わせ下さい。

参加費に含まれるもの：航空券・燃油追加代金・成田空港使用料・マニラからジャイラホームまでの交通費、食費、宿泊費  
ホームステイにかかる費用・現地団体に対する寄付・コーディネート料、スタディツアー交通費、オロンガボ宿泊費

参加費に含まれないもの：自由行動時の交通費や食費・海外旅行傷害保険・マニラ空港使用料(2千円程度)  
個人用途の費用(お土産代等)・ACTION年会費(5千円)

\* スケジュールは2010年4月現在のものです。現地の状況により変更になる可能性があります。

\* 航空券の予約状況により利用航空が変更になる場合、参加費が上がる場合があります。

毎日が遠足のようにわくわく！(20泊21日)

# ストリートチルドレン ワークキャンプ



出会い  
その1

## ストリートエドゥケーション

### ストリートエドゥケーションとは？

ACTIONと提携している現地NGO・TATAGが路上で働いている子どもたちを対象に実施している教育活動のことです。ワークショップやディスカッションを通して子どもの権利や路上での危険について学んだり、簡単な計算問題やアルファベットの練習をしています。

## ストリートエドゥケーター

ストリートエドゥケーションを企画し、引っ張っていく大学生。彼らも子どもの頃は、路上や地域内で働いていました。子ども達の頼れるお兄さん、お姉さんとして活躍中！



## 自分たちで企画しよう！

このキャンプでは合計3回のストリートエドゥケーションに参加します。そのうち2回は参加者みんなで企画します。みんなで楽しい企画を考えましょう！



ホームステイ期間以外はニニョスパグアサセンターで生活します。ACTIONは1998年より施設整備や学校の建設、医療支援を実施しています。



出会い  
その2

## 盲ろう学校

### ニニョスパグアサセンター

主に目や耳が不自由な子ども達の為に点字や手話、マッサージなどの職業訓練を行っている学校です。現在25人の生徒がここで生活しながら学んでいます。



## 2回のホームステイ

出会い  
その3

### エドゥケーターの家でホームステイ

全く異なる環境で育った同世代の彼らと子どものこと、家族のこと、将来のことなどについて話すチャンスです。



### ワーク先でホームステイ

ワーク(建設作業)もキャンプ中数日間実施します。過去にはTATAG支援先の保育園や歩道の舗装などの作業をしています。ワーク中の数日間、ワーク先でホームステイします。





## お母さんたち

TATAG支援地域のお母さんたちと一緒にある課題に取り組んでもらいます！

出会い  
その4

## ワークショップや アクティビティ



## エドゥケーター

同世代のエドゥケーターと日本の問題やフィリピンについて話し合ったり、自分について考えるワークショップに参加します。フィリピンで見たこと感じたことを次のステップにつなげるきっかけになります。



出会い  
その5

## 家庭訪問



オスメ!

TATAG支援地域へ夜ご飯を食べに行きます。路上で働いている子の家族や生活環境を垣間見ることができます。また子どもや家族の人に話を聞くことができます。積極的に話を聞いてみましょう。

## 実施するワーク

3週間、タタッグの支援先の地域で、必要とされている建設作業のお手伝いをします。愉快な大工さんや、日本人の参加者が来ると張り切って協力する地域の子ども達、参加者のお昼を作ったり、面倒を見てくれる地域のお母さんたちに囲まれながら、キャンプ中に数日間ワークを実施します。



## 現地で 関わるNGO

### TATAGとは?

Tayo Ang Tinig At Gabay (わたし達が声であり、道しるべである) という団体名の通り、貧困地域に住む子どもやオロンガポ市のストリートチルドレンと彼らのコミュニティを支援しているNGOです。ACTIONはTATAGと提携して2006年から奨学金支援や、貧困地域での就学前教室設置、職訓練のサポートを実施しています。

【日程】8月26日～9月15日(20泊21日)

【開催地】オロンガポ市内(マニラから北西に100キロ)

【参加費】198,000円(詳しくは下記を参照)

【出発地】東京(成田空港) 関西(関西空港)

【定員】15名

【締切り】7月16日 \*定員になり次第締め切ります

【参加資格】子どもや国際協力に関心があり、団体行動の出来る方(年齢・語学力は不問)

【重要①】 キャンプ中は禁酒・禁煙です。(厳守して頂きます)

【重要②】 7月17日(土)に東京・原宿で出発前研修を実施します。出来るだけ参加して下さい。

【重要③】 現地集合・現地解散、参加費の分割払いも可能です。事務局までお問い合わせ下さい。

# 日程：8月26日～9月15日 (20泊21日)

	スケジュール	食 事	宿 泊
8/26(木)	空港見送り(成田空港のみ) マニラ空港にスタッフが出迎え(東京・大阪組) 車で盲ろう学校へ移動(所要3時間半)	朝食：一 昼食：機内食(関西) 夕食：機内食(東京)	盲ろう学校
8/27(金)	午前：ワークキャンプオリエンテーション 午後：盲ろう学校オリエンテーション オロンガボ市内散策	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
8/28(土)	午前：タタッグオリエンテーション 午後：タタッグが活動しているコミュニティの訪問	朝食：盲ろう学校 昼食：タタッグ 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
8/29(日)	午前：盲ろう学校の子ども達と交流 午後：ストリートエドゥケーション訪問	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
8/30(月) ～9/1(水)	タタッグ・アクションが活動を実施している地域で2泊3日の ホームステイ(二人一組・男女別)。地域でのワークも実施します。	朝食：ホームステイ 昼食：ホームステイ 夕食：ホームステイ	ホームステイ
9/2(木)	午前：地域でのワーク 午後：地域でのワーク 夜間：タタッグの活動地域の訪問	朝食：ホームステイ 昼食：ホームステイ 夕食：訪問地域	盲ろう学校
9/3(金)	盲ろう学校にて子ども達とアクティビティー	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/4(土)	午前：自由行動 午後：夕方より2回目のホームステイ	朝食：盲ろう学校 昼食：各自 夕食：ホームステイ	ホームステイ
9/5(日)	午前：ホームステイ 午後：参加者企画によるストリートエドゥケーション	朝食：ホームステイ 昼食：ホームステイ 夕食：ホームステイ	ホームステイ
9/6(月)	タタッグのストリートエドゥケーターによるワークショップ	朝食：ホームステイ 昼食：タタッグ 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/7(火)	孤児院ジャイラホーム訪問	朝食：盲ろう学校 昼食：ジャイラホーム 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/8(水)	午前：地域でのワーク 午後：地域でのワーク 夜間：タタッグの活動地域の訪問	朝食：盲ろう学校 昼食：ワーク地 夕食：訪問地域	盲ろう学校
9/9(木)	性的虐待を受けた女の子の施設や戦跡、 ショッピングモール等を訪問するスタディツアー	朝食：盲ろう学校 昼食：モールで各自 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/10(金)	盲ろう学校の子ども達とビーチへ	朝食：盲ろう学校 昼食：ビーチ 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/11(土)	午前：盲ろう学校の子ども達と交流 午後：ストリートエドゥケーション訪問	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/12(日)	午後：参加者企画によるストリートエドゥケーション さよならパーティー 夜間：タタッグ事務所でキャンプの振り返り	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：タタッグ	盲ろう学校
9/13(月)	午前：ホームステイ先さよならパーティー準備 午後：ホームステイ先さよならパーティー	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：ホームステイ地域	盲ろう学校
9/14(火)	午前：盲ろう学校宿泊部屋の清掃・帰国準備 午後：盲ろう学校とのさよならパーティー	朝食：盲ろう学校 昼食：盲ろう学校 夕食：盲ろう学校	盲ろう学校
9/15(水)	東京組：朝1時にマニラ空港へ出発 関西組：朝7時にマニラ空港へ出発 日本到着後解散	朝食：各自空港で 昼食：機内食(東京) 夕食：機内食(関西)	

参加費に含まれるもの：航空券・燃油追加代金・成田空港使用料・マニラからジャイラホームまでの交通費、食費、宿泊費  
ホームステイにかかる費用・現地団体に対する寄付・コーディネート料、スタディツアー交通費

参加費に含まれないもの：自由行動時の交通費や食費・海外旅行傷害保険・マニラ空港使用料(2千円程度)  
個人用途の費用(お土産代等)・ACTION年会費(5千円)

\* スケジュールは2010年4月現在のものです。現地の状況により変更になる可能性があります。

\* 航空券の予約状況により利用航空が変更になる場合、参加費が上がる場合があります。

# 自分サイズの

My VOLUNTEER Style

# ボランティア

file No.

126

## 世界の子どもたちと 地域の可能性を広げる国際協力

1 左上/ACTIONの東京事務所に併設されているチャリティショップ。場所はJR武蔵境駅の南口から徒歩3分の商店街。左下/1個10円のお菓子のコーナーは、まるでフィリピンの駄菓子屋さん。近所の子どもたちにも大人気。右上/売り上げは全額プロジェクトに活用。利用者は、支援先を「孤児院・盲学校、ストリートチルドレン、先住民」の4つの中から決めることができる。店内では、それぞれの活動をパネルで紹介。右下/千葉県の安田農園が提供する野菜販売コーナー。売り上げの全額がフィリピンの孤児院「ジャイラホーム」での米や野菜の自給自足プロジェクトに活用される。

2 常に若いスタッフたちが賑わう東京事務所。左から吉岡沙織さん、宮瀬知子さん、井生亮一さん、横田宗さん、長瀬未紗さん、横田千絵子さん。

3 子どもたちが生活するコテージ、医務棟、事務所棟、図書室、ゲストハウスなどが立ち並ぶ孤児院「ジャイラホーム」。4ヘクタールの敷地内には幼稚園や小学校も。



「ピナトゥボ火山の噴火で崩壊してしまっただけの孤児院を訪ねたことから始まったNPO法人ACTION。その代表を務めるのが横田宗さん。「そんなに動き回れるのは、どんな思いから?」と、現在までの経歴と、その時々を考えていたことを中心にお話をうかがいました。幼い頃から興味を持ったら即行動。時には破天荒に、そして時には慎重に。1年のうち半年はフィリピンに滞在しているという横田さんの日に焼けた笑顔、そしてその語り口は「頼りたいたいお兄さん」そのもの。「何かを見つけたら、若者たちに常に取り巻かれています」。

■ 亜細亜大学に芸入試で入学し、入学後すぐにACTIONを設立した横田さん。「小さい頃から何か面白いことはないかと動き回って大人を困らせていました。保育園では勝手に教室の外へ出て遊んでいたり、小学生の頃は、あまりにも落ち着きがないというので、教壇の先生の真横に席を設置されました。何か心ひかれることがあると、もうそっちに向かわないでいらなくなってしまうんです」。

■ そんな横田さんが、中学生になって興味を抱くようになったのは車椅子に乗った障害者の人たち。「たまたま街で車椅子の人を見かけたんですが、大変なのに、なんで外出しているのだろうと考えるようになったんです。その後、障

一方的な支援ではなく、フィリピンから学ぶこともたくさんあります。フィリピンと日本の両方が元気になる仕組みをつくること。それが目標ですね!



横田 宗さん(31歳)

### INFORMATION PLAZA

#### ACTIONとは?

世界の子どもたちと地域の可能性を広げる国際協力を目指して1994年より活動を続けています。フィリピンに対する一方的な支援だけではなく、フィリピンでの経験で得たものを日本のまちづくりや教育に活かしていく双方向の国際協力を目指しています。

#### ■フィリピンでは...

孤児院の自立支援、盲ろう学校での職業訓練や口唇舌蓋裂の手術サポート、先住民支援、ストリートチルドレン500名への奨学金、貧困地域での通学路整備や井戸設置等を実施しています。また、ワークキャンプを通して年間200名のボランティアを現地に派遣しています。

#### ■日本では...

ボランティア情報センター&フィリピン雑貨チャリティショップを通じた国際協力活動の普及と商店街活性化、児童養護施設へのボランティア派遣、小学校・中学校・高校での授業づくりや講演会を実施しています。

#### ワークキャンプ・スタディツアー参加者募集中!

当会では孤児院や盲ろう学校に3週間滞在しながらボランティア活動をするワークキャンプ、1週間でフィリピンの様々な環境の子どもたちと交流できるスタディツアーを実施しています。

- 孤児院でのキャンプ: 8月2日~22日/9月2日~22日
  - 盲ろう学校でのキャンプ: 9月1日~21日
  - スタディツアー: 8月23日~30日
- \*キャンプ参加費は17万8000円、スタディツアーは13万5000円です。詳細は下記HPをご覧ください。

#### ■ボランティア募集中!

当会が運営するボランティア情報センター&フィリピン雑貨チャリティショップのボランティアを募集しています。月~土曜日でお好きな曜日の午前10時~午後6時まで。集まったボランティアで新企画やイベントを実施することも可能です。詳しくはお問い合わせください。

#### 連絡・問い合わせ先

NPO法人 ACTION  
〒180-0023 東京都武蔵野市境南町3-10-1-1F  
TEL 0422-26-6123 FAX 0422-33-1336  
E-mail action@actionman.jp HP http://www.actionman.jp

害を持った人たちは、仕事はどのようにしているのか? 家の中はどうなっているのか? などと疑問がふくらんでいったんです」

■ やがて高校生になった横田少年は、障害者施設での泊まりがけのボランティア活動を「これで疑問に思っていたことを知ることができると」と、さっそく応募。

■ 「銃で撃たれて半身不随になった元暴力団員、それに電車で飛び込み自殺をして障害を負った人など知り合い、面白いといっているんです。学校では決して教えてくれないことはかき回して、ますます夢中になってしまったんです」

■ その後も老人ホームや留学生支援団体などで活動しながら、2年生の時にはタイでの植林活動に参加。さらに3年生になるとフィリピンのピナトゥボ火山の噴火で被災した孤児院を単身で訪問。

■ 「電話などの通信手段もなく、アボナシでの訪問でした。それにもかかわらず未知の外国人を快く受け入れてくれました。1ヵ月半の間、崩壊した建物を再建するためにブロックを手作業でつくる毎日でしたが、その間に施設のことや子どもたちと遊びまわったことも忘れられぬ思い出となりました」

■ 高校卒業が間近に迫った頃、進路についてボランティア活動で知り合った大学生に相談する。国内外でボランティアに行ってみようといわれて。国内だけでなくフィリピンに経験を発表して、無事に当時芸入試で話題になった亜細亜大学に入学。

■ 「大学生になったものの、言葉もできず、お世話になりっぱなしだったフィリピンの孤児院に何か恩返ししたいと思いついていました。そこで、一緒に孤児院を支援する仲間を集めることにしました。それがACTIONの始まりです」

■ 現在まで、孤児院での自立支援や盲ろう学校での職業訓練先住民支援、ストリートチルドレンを対象にした奨学金など、ここには書き尽くせないほどさまざまな活動を展開している。

■ 「一方的な支援ではなく、フィリピンから学ぶのがたくさんあることに気づき、それを日本の子どもたちに伝えたいと思ひ、小学校、中学校、高校のそれぞれで年間を通して授業を実施しています。貧困という現実があっても、地域の結びつきが強く、何かあっても協力体制ができることやいじめなどで孤立することもつらくないことなど、それはかつての日本では当然のことでしたよね。大人たちが、小さくても当たり前の幸せを感じたり、心からの笑顔で接することができるようになれば、その幸せの連鎖が子どもたちにも巡っていくはずなんです。そんなまちづくりや社会づくりを、フィリピンと日本の双方の協力体制を築いて、少しずつ実現していくことが今の目標です」

■ ACTIONでは、ワークキャンプを通じて年間2000人のボランティアを現地に送り込んでいます。

■ 「現在、夏のワークキャンプ参加者を募集中です。毎日が貴重な体験の連続になることは間違いありません。興味のある方は、ぜひお問い合わせください」



リクルートは情報誌でボランティアを応援します。「このページで活動をPRしたい」というご要望、お待ちしております!

このページは、情報誌を提供する当社が考えるボランティア支援のひとつです。毎号、自分ならではのボランティア活動に取り組み方々をご紹介します。自薦・他薦を問いませんので、どしどし応募ください。

株式会社リクルート 社会貢献担当 〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルート銀座8ビル ☎ 03-3575-5998

## 「教室から広がる国際交流」



横田 宗 はじめ

特定非営利活動法人 ACTION 代表

1976年生まれ。亜細亜大学卒。高校3年生の時にフィリピンの孤児院を単身で訪れ、大学入学後ACTIONを設立。在学中は孤児院支援を続けながら1年間休学してアフリカ諸国の孤児院で活動。

現在は(特活)ACTIONの代表を務める傍ら、フィリピン、ルーマニアの空手道場で指導員としての活動も実施している。99年中田厚仁記念基金褒賞、2001年日本財団賞受賞。

1994年、当時高校3年生だった私はフィリピン・ピナトゥボ火山で被災した孤児院を一人で訪れた。滞在中、子どもたちと遊び、見るものすべてが新鮮で楽しかったのだが、施設にどれだけ貢献できていたかというところは疑問であった。帰国して大学入学後、孤児院を支援するためにACTIONという団体を立ち上げた。

それから9年経つ。大学在学中はACTIONの活動を続けながらインドやルーマニア、アフリカ数カ国の孤児院で活動をし、大学卒業と同時に東京都武蔵野市とフィリピン・スービックにACTIONの事務局を設置した。現在はフィリピンにおいて児童施設のインフラ整備、先住民族への医療支援、貧困地域での教育環境整備を実施している。また、年間200名を各事業地に日本からボランティアとして派遣している。日本国内では児童養護施設へのボランティア派遣を主に行っているが、ここ数年国際理解教育の一環として小・中・高校の授業に呼ばれる機会が増えてきた。

なかでも、武蔵野市国際交流協会が実施している「教員ワークショップ～NGOと協働の授業作り～」がきっかけで始まった当会事業地の中学生と武蔵野市内の中学生との

ビデオレター交流は珍しい。1年間を通して子どもたちがグループごとに地域・文化などテーマを決めて実際にビデオ撮影を行うのだ。授業にプロのフィリピン人ジャーナリストを招いて、人に自分たちが何を伝えたいかをビデオに込めることの大切さを教えてもらった。また地域との連携を重視し、積極的に外に出て行くようにしている。子ども同士が手紙や簡単な物の交換ができることもNGOが授業に関わる利点だ。

しかし、NGOが学校の授業に関わることの最大のメリットは、映像だけではなく実際にその場で活動をしている現場のリアリティが年間を通して教室に運ばれてくることであろう。子どもたちにとって、お互いの国がもはや遠い世界の話ではなくなっているのだ。

フィリピンでは、日常的に大人と子どもが接し会話をして共に考えていく機会がある。井戸では年齢は関係なく子どもたちとさまざまな会話を交わすし、テレビを見る時には社会問題について会話がはずむこともある。日本では水道を捻れば水は出てくるし、家族全員が家にいるのに自分の部屋でテレビを見ているといったことも珍しくない。社会に対して世代を超えて意見を交わす機会が失われていると思う。このような状況を変えていくための一つの方法として、今回のような学校・地域・NGOで連携をした授業作りが大きな意味を持つのではないだろうか。

これまでビデオレター交流も含めていくつかの学校で授業をしてきたが、必ず「一番嬉しいときはどんな時ですか?」と子どもたちに聞かれる。最初は私自身も何が一番なのか返答に困ったが、最近一番嬉しいことはフィリピンの孤児院の子どもを抱くと重さが増えている時。体重だけの重さではない。子どもの背負っているバックグラウンドや人生、命の重さを感じる。その重みを忘れることなくこれからも活動を行ってきたい。そして自分のできる範囲で日本の子どもたちにさまざまなことを伝えていきたいと思う。



# 参加決定までの流れ

## ① 申込書の郵送

以下の住所まで参加申込書を郵送して下さい。

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町3-10-1-1F  
NPO法人ACTION 海外ボランティア係

\* 事務局まで持参して頂いても構いません。

## ② 申込金の振込

申込金3万円と年会費5千円の合計3万5千円を下記口座にお振込下さい。

三菱東京UFJ銀行 武蔵境支店 (普通)1307765 アクション ヨコタハジメ

- \* お振込後、メールかお電話でご連絡下さい。
- \* 既にACTION会員の方は会費は必要ありません。
- \* 申込金は参加費の一部です。

## ③ 参加決定！

申込書と申込金が揃った時点で参加決定となります。  
メールもしくは電話で参加決定のご連絡を致します。

- \* 参加決定後のキャンセル料等については別紙をご覧ください。
- \* 事前研修の案内等は別途郵送させていただきます。

**NPO法人ACTION** 担当:長田/蟹沢

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町3-10-1-1F

TEL. 0422-26-6123(月～土:午前10時～午後7時)

MAIL. [workcamp@actionman.jp](mailto:workcamp@actionman.jp) URL. [www.actionman.jp](http://www.actionman.jp)

パンフレットの内容は2010年4月現在のものです。  
都合により内容が変更になる可能性があります。

 **ACTION**  
A Child's Trust Is Ours to Nurture  
こども達と地域の可能性を広げるNGO